

## 費用便益分析の対象区間

# 広域ネットワークでの費用便益分析

## <一般国道40号(北海道縦貫自動車道) 中川天塩道路>

北海道縦貫自動車道(札幌JCT～稚内) 284.6km(調査中区間を除く)

凡例	
	開通済区間
	事業中区間
	新規事業候補区間
	調査中区間(計画段階評価完了)
	調査中区間(計画段階評価未了)



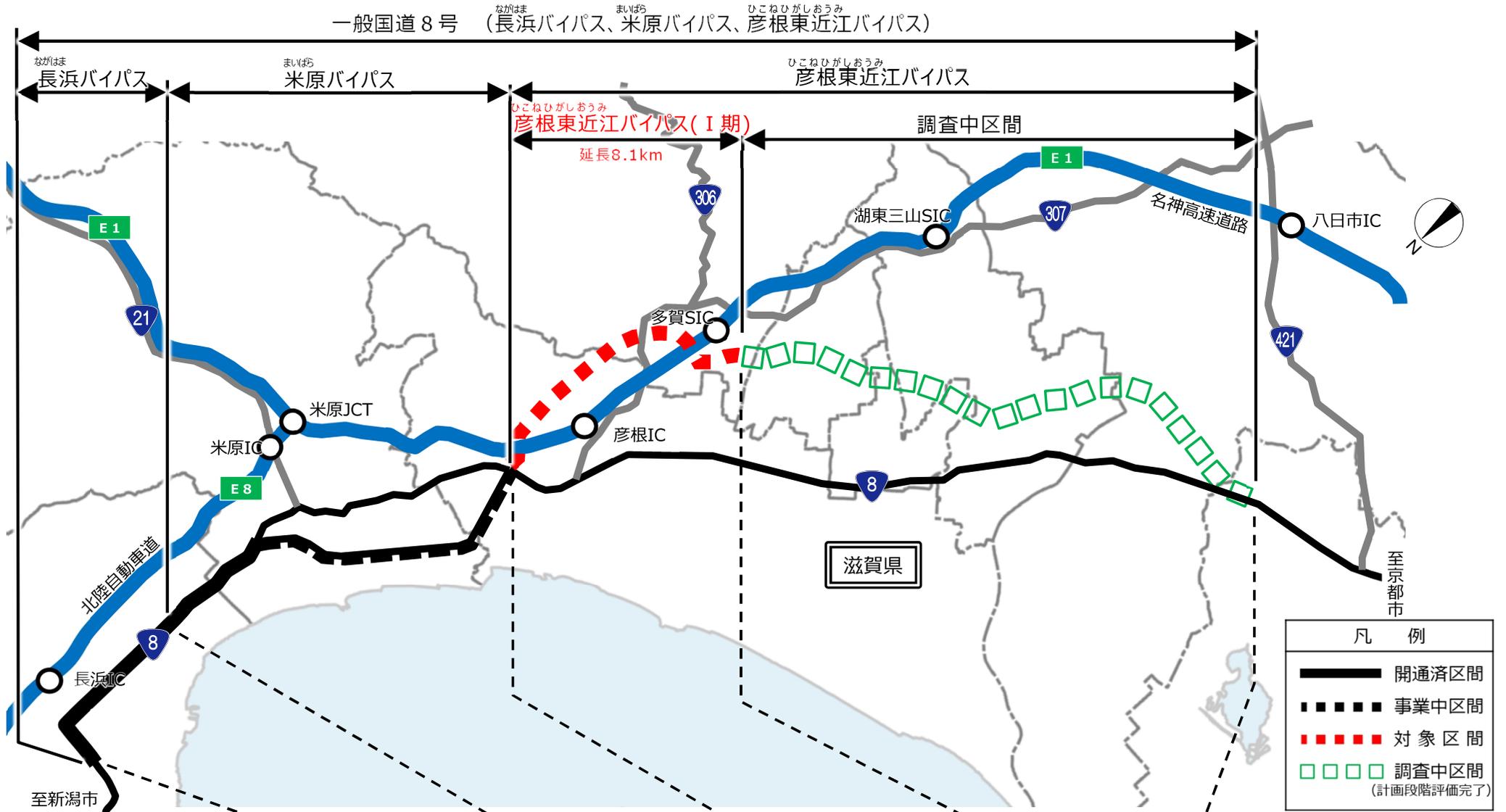
	開通済区間 L=125.4km 札幌JCT～旭川鷹栖	開通済区間 L=45.8km 旭川鷹栖～士別剣淵	事業中区間 L=24.0km 士別剣淵～名寄	開通済区間 L=19.5km 名寄美深道路 名寄バイパス	開通済区間 L=3.3km 名寄美深道路 美深道路	調査中区間 美深北～音威子府	開通済区間 L=19.0km 音中道路	新規事業候補区間 L=20.7km 中川天塩道路	調査中区間 天塩～幌延	開通済区間 L=10.9km 幌富バイパス	開通済区間 L=16.0km 豊富バイパス	調査中区間 豊富北～稚内	B/C	EIRR
新規事業化候補箇所			※1					○					0.2	-2.1%
一体評価区間※2	※3	○	○	○	○		○	○		○	○		1.3	6.0%

○印 「事業を実施する場合」と「事業を実施しない場合」の比較対象

※1 新規事業候補区間のB/C等の算出にあたり、事業中区間は将来ネットワークに含む

※2 基準年をR7として計算

※3 十分な精度で事業費を計上できない区間のため



	開通済区間 延長 5.8 km	事業中区間 延長 10.3 km	新規事業化候補箇所 延長 8.1 km	調査中区間 延長 約16 km	B/C	EIRR
新規事業化候補箇所		※ 1	○		0.97	3.9%
一体評価※ 2	○	○	○	○	5.4	41.6%

○印は「事業を実施する場合」と「事業を実施しない場合」の比較対象  
 ※ 1 : 新規事業候補箇所の B / C 等の算定に当たり、事業中区間は将来ネットワークに含む  
 ※ 2 : 基準年をR7として計算

# 広域ネットワークでの費用便益分析

<一般国道2号 福山道路(笠岡西～長和)>

	開通済区間 松永道路 L=3.2km	開通済区間 赤坂 バイパス L=4.2km	事業中区間 福山道路 L=3.3km	新規事業候補区間 福山道路 (笠岡西～長和) L=13.2km	事業中区間 笠岡 バイパス L=7.6km	事業中区間 玉島・笠岡 道路(Ⅱ期) L=9.4km	開通済区間 玉島・笠岡 道路(Ⅰ期) L=4.5km	開通済区間 玉島 バイパス L=5.9km※1	開通済区間 倉敷立体 L=7.7km	B/C	EIRR
評価区間 (福山道路)				○						1.1	4.5%
倉敷福山道路	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3.9	11.9%



- 凡例
- 高速道路
  - 自動車専用道路
  - 直轄国道
  - 補助国道
  - 主要地方道
  - 一般県道
  - 事業中区間
  - ○ ○ 対象区間(都計済)

○印は「事業を実施する場合」と「事業を実施しない場合」の比較対象  
 ※1: 玉島バイパスの延長は、玉島・笠岡道路(Ⅰ期)及び倉敷立体との重複区間を除く  
 ※2: 一体評価B/C等の算定にあたり、供用区間・事業中区間・調査中区間(計画段階評価、都市計画決定が完了している区間)は将来ネットワークに含む  
 ※3: 基準年をR7として計算



	開通区間	事業中区間	事業中区間	事業中区間	事業中区間	事業中区間	開通区間	事業中区間	事業中区間	事業中区間	事業中区間	新規事業化候補箇所 延長8.3km	調査中区間	開通区間	事業中区間	事業中区間	事業中区間	開通区間	B/C	EIRR
	延長15.0km 高知南国道路	延長12.5km 南国安芸道路	延長8.5km 南国安芸道路 (芸西西～安芸西)	延長5.8km 安芸道路	延長9.1km 奈半利安芸道路 (安田～安芸)	延長4.0km 奈半利安芸道路 (奈半利～安田)	延長5.0km 北川奈半利道路	延長4.0km 北川道路 (2-2工区)	延長9.0km 北川道路 (1工区)	延長8.5km 野根安倉道路	延長14.3km 海部野根道路	○		延長9.3km 日和佐道路	延長9.6km 福井道路	延長6.5km 桑野道路	延長17.3km 四国横断自動車道 (阿南～徳島東)	延長4.7km 四国横断自動車道 (NEXCO)	B/C	EIRR
新規事業化候補箇所		※1	※1	※1	※1	※1		※1	※1	※1	※1	○			※1	※1	※1		0.4	-0.2%
一体評価 ※2	○ ※3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1.1	4.3%

○印は「事業を実施する場合」と「事業を実施しない場合」の比較対象

※1: 新規事業化候補箇所のB/C等の算定にあたり、事業中区間は将来ネットワークに含む

※2: 基準年をR7として計算

※3: 暫定整備(2/4)とする